

市民委員会、市民ワーキングによる「事業」への意見集約

7つの事業	実施事業の方向性	具体的事業案			
<p>育成事業</p> <p>そだてる(育成普及) ～地域文化の 足腰を強くする～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術支援者・共感者(鑑賞者)の育成事業 ●アーティスト/職能の育成事業 ●次世代育成事業 	<p>子どもたちの芸術文化への関心を高める事業</p> <p>子どもたちが本物を鑑賞できる事業</p> <p>子どもへの音楽・演技・美術などの体験・指導</p> <p>未就学児対象の催し</p> <p>小中学生劇場体験</p> <p>ジュニア・オーケストラ</p> <p>ジュニアコーラス</p> <p>伝統芸能の公演や継承活動(相模人形芝居 下中座、民俗芸能、北条太鼓)</p> <p>子ども舞台教室</p> <p>学校における芸術系科目のホールでの実施</p> <p>子どもが気軽に立ち寄り、遊べる</p> <p>子ども対象ワークショップ(造形、色彩、伝統芸能、オペラ、ミュージカル)</p> <p>親子で楽しめる事業</p> <p>音楽研究施設(学ぶ空間)</p> <p>音楽教室(無料)</p> <p>マナーを教えつつホールは楽しい場所と認識させる</p> <p>子ども対象のイベント(長期的に養成)</p> <p>小中学生への美術教育(授業の一貫として見学会)</p> <p>地域の小中高等学校との連携(出張教室)</p> <p>小児病棟の子どもに向けたキッズアートプロジェクト</p> <p>子ども対象のイベントを重点的に行う</p> <p>定期的なソリストの子供向けのコンサート。各回毎に楽器を変えてそれぞれの楽器を知ってもら。音大生や小田原出身の若手に依頼(演者も育てる)</p> <p>創作ミュージカル</p> <p>5～10年の育成プログラム(小田原の魅力「自然+文化」)</p>	<p>市民が芸術文化の魅力に触れるきっかけ体験事業</p> <p>ワークショップ(映像なども含め多彩な分野)</p> <p>学校や病院などへのアウトリーチ</p> <p>アート体験プログラム</p> <p>伝統芸能体験</p> <p>コンテンポラリーアート展</p> <p>スタンウェイマラソンコンサート</p> <p>小田原演劇祭</p> <p>広く市民の芸術文化への関心を呼び覚ます事業</p> <p>演奏家や演出家によるセミナー</p> <p>シンポジウム</p> <p>一流講師によるセミナーやレクチャー</p> <p>プレトーク・ポストトーク</p> <p>ギャラリートーク</p> <p>キュレーターによる解説</p> <p>芸術鑑賞などのスクールプログラム</p> <p>バックステージツアー</p> <p>市民の文化に関する意識向上に向けた事業</p> <p>劇場の原点であるギリシャ、シェイクスピアの解説講座</p> <p>観客を育てる</p> <p>アンデパンダン展</p> <p>批評講座公演(終演後に批評する講座)(反対意見も有り)</p>	<p>小田原ゆかりの事業</p> <p>小田原著名人の学生対象ワークセミナー</p> <p>二宮尊徳の教訓を継承した学習の催し</p> <p>北条太鼓、蘇我の寿舞、寺山の鹿島踊り、山王神社の木槍、相模人形芝居等の郷土芸能の観賞</p> <p>ビッグネームによる指導</p> <p>舞台芸術を支える職能を学び、目指すための事業</p> <p>アートマネジメント講座</p> <p>舞台技術講座</p> <p>人材の育成(文化活動を行う人・団体をコーディネートする人材、ファシリテーター、趣味コース、文化をささえる人材(専門家、市民))</p> <p>プロ育成講座(学校、育てるコース、ライセンス制度)</p> <p>コンテスト(デザインフェスタ、POPS、新人音楽家)</p> <p>市民の中からプロを育てる事業</p> <p>運営チームによるプロデュース公演</p> <p>アートマネジメント講座の常時開催</p> <p>文化サポーターの育成と増員(若者)</p> <p>ボランティア育成</p> <p>小田原芸術大学の創設</p> <p>舞台技術テキストの発行</p> <p>小田原クールリスナー講座(評論の講座)</p> <p>ホールの技術者養成を今から始める</p> <p>企画実施のアートマネジメント教育プログラム</p> <p>大学生主催の小中学生へのアート創造活動実施支援</p>	<p>アーティストの育成</p> <p>小田原在住・出身の新進美術家の育成(制作、発表、助成金)</p> <p>常設美術学校</p> <p>練習場所(ホール以外に小学校など)</p> <p>市民が使いやすいシステム</p> <p>ミュージックカレッジ、音楽リスナー講座、舞台技術カレッジ</p> <p>若者・学生</p> <p>学校の部活動からの参加(ダンス部、演劇部)</p> <p>大学生のボランティア(単位の対象とする)</p> <p>講義、ワークショップを大学、高校の単位とする</p> <p>オープン5年後に高校演劇全国大会を小田原に招致する。(それまではレベルアップのため定期的にワークショップ 高校生が演劇を好きになる大人になって劇団をつくる 小田原の演劇人口が増える 全国の高校生を集めてまちのPR、まちづくりに貢献)</p> <p>全国高校演劇大会</p> <p>服飾学校着物展</p> <p>芸大、美大、音大との提携(卒業制作展海佐、ギャラリー・スタジオ等の割引)</p> <p>その他</p> <p>café をチャレンジショップとする(数年で独立させる)</p> <p>育成事業の総合的な骨格の形成</p> <p>バリアフリー映画の制作とワーキング・上映。大藤信郎になぞって影絵、アニメ、コマどりアニメ</p>
<p>参加事業</p> <p>つくる(市民参加) ～創造の輪を拓ける～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民参加事業 ●文化芸術体験事業 ●文化芸術活動支援事業 	<p>市民自らが参加し、体験する舞台芸術創造事業</p> <p>市民ミュージカル</p> <p>市民オペラ(+実現のためのワークショップ)(市民合唱団+プロ オーディションにて出演者を選抜)</p> <p>えっさホイ(よさこい)の練習</p> <p>企業対抗アートフェスティバル</p> <p>美術のワークショップ(実制作の場、ミニ体験)</p> <p>プロのオケ・ソロ+市民合唱団によるオペラ</p> <p>市民参加による台本づくり</p> <p>市民が文化や芸術に触れるきっかけ事業</p> <p>市民のための音楽フェスティバル</p> <p>老若男女の参加者と観衆が楽しめる企画</p> <p>バックステージツアー</p> <p>市民主体の作品展、イベント</p> <p>小田原食材を活用した大人の調理実習</p> <p>小田原ゆかりの事業(小田原囃子等おひろめ会)</p> <p>若い人が自分もやってみたいと思う気持ちになれるような鑑賞事業</p> <p>小田原ならではの地域資源を活かしたアート・フェスティバル</p>	<p>月例のセンター、市民ギャラリツアー</p> <p>コンテンポラリーアートの作家と市民が触れあう事</p> <p>各世代が様々な分野のアートに触れる機械の提供</p> <p>地元、地域の身近なアーティストと協力した体験事業</p> <p>レクチャーコンサート</p> <p>市民が文化や芸術の運営に参加・参画する事業</p> <p>ホールサポーター・ギャラリーサポーター</p> <p>事業サポーター</p> <p>チラシ・会報作成支援</p> <p>会場デコレーション</p> <p>記録写真・ビデオの撮影</p> <p>市民による作品解説</p> <p>市民運営委員会</p> <p>市民企画公募制度</p> <p>NPO 活動、市民活動サポートセンター</p> <p>市民ボランティア(館内案内など)全体運営サポート</p> <p>各種会費制友の会(市民会館・演ずる側・受ける側)</p> <p>友の会からの運営サポート</p> <p>小田原出身劇団、相模原舞台同盟の大ホール公演</p>	<p>文化や芸術を支える職能を備える市民を育てる事業</p> <p>レセプションの養成</p> <p>市民企画事業</p> <p>アートマネジメント講座</p> <p>舞台技術講座</p> <p>企画立案養成講座</p> <p>市民の中からプロを育てる事業</p> <p>運営チームによるプロデュース公演</p> <p>FMおだわらパーソナリティによる朗読劇</p> <p>市民の意見を広く採り入れていくための事業</p> <p>友の会づくり</p> <p>優良事業補助制度</p> <p>アンケート・意見箱の設置</p> <p>運営情報の公開</p>	<p>子ども対象</p> <p>身近なものを使って子どものアート</p> <p>定期的な子どもたちのコンサート</p> <p>全市、近市の小学校・中学校を一同にした文化祭</p> <p>小田原中学合同音楽祭</p> <p>バリアフリー</p> <p>車椅子の方が参加できるイベント</p> <p>読み聞かせを録音しバリアフリー書籍・電子書籍化</p> <p>その他</p> <p>コンセプチュアル写生・写真コンテスト</p> <p>杉本博司</p> <p>ビジョン・市民参加・事業・運営の一貫性の確保</p> <p>参加者のモチベーションを高めるコンクール(ガーデンニングコンクール等)</p> <p>センターステージ形状での催し</p>

7つの事業	実施事業の方向性	具体的事業案	7つの事業	7つの事業	実施事業の方向性
<p>地域発信事業</p> <p>つたえる(地域特性の発信) ～小田原の魅力をつたえる～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小田原の文化芸術蓄積・発信事業 ●小田原の魅力発見事業 ●地域ブランド育成・発信事業 	<p>小田原を題材にした事業 北原白秋、二宮尊徳など地元ゆかりの人物を題材とした事業(展示会・童謡コンサートなど) 小田原ゆかりのアーティストによる催し 江戸町文化 総合文化祭 小田原食材を活用した大人の調理実習 小田原のニューブランド創造ワークショップ、商品化 戦争体験談アーカイブ・映像ドキュメンタリー上映・ワークショップ映像(映画制作) 町や商店のCMづくり 足柄銘山のような目玉の開発</p> <p>地域の“宝”発見事業 体験ワークショップ 町の歴史聞き取りワークショップ 地域の物語やおはなし作りのワークショップ 伝統芸能の公演や継承活動(相模人形芝居 下中座、民俗芸能、千人太鼓)</p>	<p>失われた文化の再発掘 町内に関心をもたせる 我が町内のお宝さがし 小田原各地区のアピールウォーク 湯河原や箱根を含めた地元ゆかりの事業 小田原文学読み聞かせ</p> <p>小田原の文化を蓄積し、発信する事業 ホームページ、情報誌、広報紙 公演の記録保存・アーカイブづくり(図書館機能との連携、ふるさとの映像) オリジナルCD・DVD等の制作 ホールグッズ 市民活動のデータベース 文化資料室 生活文化の発信 ミュージアムショップ 市民、学校職員のネタ集めの場所 小田原文学堂(シナリオ化、映像化、コンテンツツーリズム)</p>	<p>ホールの中に芸術文化発信のスタジオ ギフトショー(ビックサイト)で小田原ブランドを発信 小田原美術誌の発行 ホール美術展の地域公民館への巡回 ラジオドラマ制作、FMおだわらで放送 ペンクラブ、文学団体の協力による「おだわらものがたり」創発 小田原の文化的アーカイブ(ライブラリースペース) 小田原城の歴史と文化を紹介するイベント(小田原市全体のイメージアップ) 湘湖地域全体での「まつり」(あしがらアートフェスティバル) 広く地域の人々を引き寄せるコンテンツの構築・発信 史跡で「歴史に向き合う」野外展示会(ピエンナーレ) 小田原城大外郭(小学校の遠足、模型づくり) 自宅に眠っているプログラム、パンフレット等を集めた資料室 小田原ならではの「和」を活かした事業 どろんこ、よごして 華道展</p>	<p>小田原の特産を活かした地域ブランド発信・育成事業 レストラン・カフェでの食文化発信など(出会うコミュニティカフェ、地産地消カフェなど) 小田原物産(小田原風鈴、ちょうちん、いもの、箱根細工 小田原彫り、小田原ブランドとしての芸術文化マーケット) 新しい時代の小田原らしさ創造、小田原ブランド展 大ホールの子の壁はなるべく木材を多くして</p> <p>その他 大・小ホールを利用していないときのロビーの開放 ギャラリー壁塗りかえ、釘打ちを可能なように動線への配慮 休憩スペースの設置 おだわらおでんコンテスト最終決戦大会</p>
<p>交流事業</p> <p>出会う(交流促進) ～共感のよここび～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●交流促進事業 ●連携事業(既存施設、広域等) ●コミュニティ活性化事業 	<p>異分野交流事業 異なる分野で活動する文化団体のコラボレーション 多くの市民や複数の団体の参加を募れる催し 他分野でのワークショップ 作家との交流 ジャンル横断のコラボレーション(絵画+歌・音楽) アートと認識されにくいジャンル(花火、よさこい(えっさホイ)、メディア、コンテンポラリーダンス、千人太鼓) 市民サークルのグループ展 笑いの効用を紹介するためのホールを活用(吉本など)小田原芸人育成 アートコンプレックス、アートと音楽、映像、コンテンポラリーダンスなどとのコラボ 外国人アーティストとの継続的な交流</p> <p>人と人との交流事業 アーティスト登録紹介制度 芸術家との人的なネットワークづくり 文化活動を行う人・団体をコーディネートする人材の育成</p>	<p>レストラン・カフェでの食文化発信など(出会うコミュニティカフェ、地産地消カフェなど) 憩いの広場 林英哲(太鼓)盆踊り大会 和の芸術、十二常の舞 友だちが増えるイベント(子ども間交流) 対象を絞るのではなく大人も子どもも一緒に過ごせるワークショップや発表会 地域の老若男女が集結し各々の特技で親睦・交流(40歳、60歳の成人式) 楽しみ・生きがいづくり 文化フォーラム 人を讃えることから新たな小田原文化の創造を作品制作過程の公開 3.11チャリティーバザー・コンサート 小田原ちょうちんを活かしたイベント</p>	<p>小田原市を越えた広域連携事業 他館との共同制作による新しい創造活動 広域圏の文化施設との連携(小田原の周りの美術館、箱根、湯河原既存の活用) 芸術大学などとの連携 市内での連携(既存施設、活動団体など) ホールと名建築のコラボ(古希亭 清閑亭 文学館 老夢社 松司記念館) 城山又は久野ミュージアム・トレインの設立 世界的アーティストのコンテンポラリー作品展示</p> <p>施設間交流事業 全館交流フェスティバル 市内ギャラリーの共同展(まちなかアート展) 既存施設(松永、清閑亭、文学館)との美術展ネットワーク 各種巡回展(地方・国・県) 小田原の文化活動の全てを集約した情報発信基地(情報センター、アーカイブ、ライブラリー)</p>	<p>芸術文化による交流促進事業 オペラやミュージカルなど総合芸術事業 フェスティバルの開催 小田原国際音楽祭 青少年器楽合奏団 小田原で活動している人たちで一つのステージをつくる(ジャンルを超えて)</p> <p>小田原をテーマに 小田原在住文化人リレートーク週間 小田原の民話・伝承遊び・わらべ歌などを舞台発表の場を使って残す 小田原を知るきっかけづくり 自治会対抗芸能大会(一位に市より交付金) 小田原提携アートフェスタ、野外アート+造園+環境美学+ランドスケープ 小田原の技巧品展 小田原を題材とした作曲・映像制作・市民出演 小田原囲碁将棋部(呉清源が小田原出身)</p>
<p>鑑賞事業</p> <p>たのしむ(質の高い催し) ～創造性を刺激する～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●優れた文化芸術鑑賞事業 ●小田原ゆかりの鑑賞事業 ●文化芸術作品創造事業 	<p>優れた芸術文化を鑑賞する事業 質の高い招へい事業(コンサート・歌舞伎・バレエ・ミュージカル・オペラ・ガラコンサート等) 美術作品などの鑑賞機会の提供 プロデューサーやアドバイザーによる監修・制作の公演 他都市の公立文化施設などで制作される良質な催しの招へい テント公演 映画(映画祭、16mm、バリアフリー、ロードショーに掛からない良品) アコースティックコンサート バリアフリー 全国規模の展覧会(写真、公募展、現代アート、アンデパンダン展など) TVの公開番組、収録 映像を活用した作品 兄弟館での巡回公演・巡回展 子どもが本物を観賞できる事業 美術作品などの鑑賞機会の提供 現代作家のアート展示 コンテンポラリーダンス 良質の舞台、演奏会、歌舞伎など</p>	<p>クラシックのリサイタル オーケストラ公演 飲食可のジャズ公演 飲食可のフィルムフェスタ(オペラ歌舞伎等を上映し生のステージへ誘導) 一流アーティストのコンサート 小田原アーカイブ映画祭 withレクチャー(毎年テーマを決めて名作を上映) 伝統芸能(団十郎との関わりイベント)</p> <p>小田原ゆかりの鑑賞事業 小田原ゆかりのアーティスト・文化人(地元演奏家、大藤信郎、川崎、尾崎、首藤、北原白秋) 伝統芸能の公演や継承活動(相模人形芝居 下中座、民俗芸能) ガンラジオドラマ風、ガンダムでの興し 小田原鉄道文化祭 星空コンサート 小田原ならではのコンサート(御幸の浜ビーチコンサート、自然素材だけのコンサート・アート) 小田原ならではのシチュエーション(銅門、梅林、浜)での映画上映</p>	<p>小田原出身者の事業(藍坊主の凱旋ライブ) 県知事と共催で名曲50～100選(地元文化の発展) 小田原産文化のアートゲート エヴァンゲリオンクラシックコンサート 24時間ぶっとおし落語ライブ ういろう口上イベント</p> <p>子ども対象事業 子どもたちが本物を鑑賞できる事業 楽器を楽しむ子ども向けの音楽会 音楽、演劇の鑑賞の仕方を学ぶワークショップ 子供向けアウトリーチ 定期的な子どもたちのコンサート 身近なものを使って子どものアート作り</p> <p>フェスティバル 地元のプロの音楽家達による音楽祭 夜間のアートフェスティバル ダンスイベント</p> <p>市民 市民演奏団体の質の向上をはかる企画</p> <p>伝統芸能 定期的な寄席 歌舞伎(曾我物)</p>	<p>映画 定期的な上映 シネマトーク的展開(屋外開催も検討) 天幕上映会 テーマを設定した上映会</p> <p>野外等利用 前庭での野外コンサート 映像マッピング</p> <p>その他 専門委員の方々に関わるイベントの出張公演 劇場・音楽堂事業に偏らないように 30～40代が興味を持つ事業 ビジョン・市民参加・事業・運営の一貫性の確保 車椅子でも参加できるイベント(音楽など) 小田原の「食の文化」を楽しめる空間、イベント(小田原産の食材をつかったメニューなど) 三次的に空間を使い自由に展示できる仕組み 松永美術館程度の設備 子ども向け・上質なものととの事業バランス スーパープレゼンテーション・音楽講座 スーパーサイエンス講座・音楽・パフォーマンス・化学実験講座</p>

7つの事業	実施事業の方向性	具体的事業案	7つの事業	実施事業の方向性
<p>にぎわい創出事業</p> <p>にぎわう(にぎわい創出) ~ 催し物がなくても 立ち寄れる ~</p>	<p>●ロビー・ホワイエ等 施設活用事業</p> <p>●地域活性化事業</p>	<p>市民ホールにぎわい創出事業</p> <p>展示系事業 日常的な事業 アートフェス ふるさと大使のホールイベント参加 植木をつくるコンテスト ちょうちんコンテスト ジャンボ・アート ドミノ倒し ファッションショー、車のショー 生け花展 芸術文化祭(現市民文化祭)</p> <p>気軽に立ち寄り、楽しめる事業</p> <p>オープンロビーでのコンサートや展示 ランチタイム・サロン・モーニング・ティータイム・アフタヌーンタイム・イブニングタイムなどのコンサート 前庭や路上コンサートやパフォーマンス レセプション 子ども達が体を動かして遊びながら楽しめるもの(工作・ダンス・コーラス・劇)</p>	<p>市民文化祭・映画祭・文化祭</p> <p>子どもにとって特別な場所ではないホール(例: 小田原メダカをホール周辺の子ども達に育ててもらう) 子どもの遊び場・溜まり場(大人も集まれる) 各種フェスティバルや大会(ガンダムフェス・ジオラマ展、ジオラマワークショップ、シンポジウム、原画展、イラスト展、クイズ大会、小田原コミケ、ゆるーい歴史のお祭り、ゲーム大会 コンテンツ事業、若者むけのオタク文化(アニメ、まんが、コスプレ等)のイベント) ミュージックストリートの開催回数を増やす 外部のオープンスペースでのオープンエア美術展 芸術目的でなくても安価かつ気楽に利用できるスペース・席</p> <p>お茶、おいしいお酒の飲める場所 「アート楽市」のような、若手アーティストの小物市 子どもが学校などでは制限されてできないこと ゆるゆる歴史祭り(コミケ・コスプレ・クイズゲーム大会・イラスト・武者絵・映画上映) ホールオープンデー 小田原市民感謝デー 小田原大茶豆大会(近隣飲食店に城内に喫茶を点在させ、楽しみながら城巡りをする)</p>	<p>まちににぎわいを生み出す事業</p> <p>地場産などのフリーマーケット 周辺飲食店・商店街との連携(食・大道芸) 観光情報や芸術文化情報の提供 お城周辺での催しと連携 季節イベント(ハロウィーンパーティー、クリスマスパーティー) 町全体でにぎわいを(町内会対抗コンサート+一流アーティスト、すべてのバンド集合、小田原おじさん(ロカビリーフォーク etc 大集合、商工祭、ちょうちん祭の復活) 商店街マッピング 若手アーティストが常に集うオープンスペース 外から見えるギャラリー(遮光も必要)</p> <p>仕組みづくり</p> <p>まちなかつなぎの仕組み 回遊ルート</p>
<p>施設提供事業</p> <p>ひろげる(利用促進) ~ 稼働率の高い施設 ~</p>	<p>●市民活動支援事業</p> <p>●情報発信事業</p>	<p>市民ホール利用促進事業</p> <p>提携・共催事業を含めたラインナップづくり 事業誘致、施設の積極的な貸出事業 ホールセールス フェスティバルの開催 稼働率を高く 練習室、スタジオ併設(バンド、ダンスなど) 市民参加 小ホール機能の充実 現行事業の新施設利用(キャンパス小田原の事業等) 館内どこでも映画祭 秋のちょうちん祭</p>	<p>現行事業の分散実施(市民文化祭を春・秋に分ける) 小田原の公共施設での年1回以上のイベント義務化 ライブレコーディングが可能なホール(良質の音響環境とハードの充実) 動員力のある事業</p> <p>サービス・ホスピタリティ提供事業</p> <p>質の高い施設管理 利用相談 コンシェルジュ機能 インターネット施設予約 若者が24時間使える空間 カフェでのイベント関連メニュー提供</p>	<p>市民への定期情報発信事業</p> <p>市民ホール整備の動きのプロモーション 高齢者へのPR・活用</p> <p>経営</p> <p>採算の合う使用料 利用しやすい使用料 入場料の割引(年少者、高齢者、障がい者) ネーミングライツ 市民ホールキャラによるコンテンツビジネス</p> <p>運営規則</p> <p>市民の優先利用(料金・予約) 大ホール公演前のリハーサルに大スタジオを利用 大規模イベント時に、大スタジオの控室利用</p> <p>その他</p> <p>市民ホールに集まる人の行動・経済力の分析 観光的な要素(小田原のツーリズム戦略の問題) 生涯学習センターや公民館との違い(法的制約) けやき(教える・学ぶ)との関連 室・月・曜日ごとの稼働率の表示 どろだらけにしても良い設備 展示室で演劇、映画鑑賞ができる設備 地域材の活用 ギャラリーはアート中心</p>
<p>その他</p>		<p>ギャラリーをアトリエとして使用 現代アート中心 華道・茶道なども華道・茶道などもギャラリーの対象 (対象ジャンルは広く) かべや床を使えるようにする 多機能を追求すると本来の目的がうすれる 静粛性を絶対に確保する。 芸文センターに美術学芸員を置く</p>		